

生涯学習認定制度

1 目的

本制度は、医療の進歩に即応した広い知識と技能を有する薬剤師が求められる中で、医療の最前線で国民の健康と福祉に貢献できる薬剤師育成のためにその生涯学習を支援することを目的とする。

2 組織・運営

本制度の運営と維持にあたるため、東邦大学薬学部臨床薬学研修センターに「認定薬剤師制度委員会」をおき、この制度の運用全般についての管理を行う。また本制度の実行運営のため、「認定薬剤師制度委員会」の中に「研修企画実行委員会」および「認定評価委員会」をおく。「研修企画実行委員会」は研修プログラムの企画、研修会の実行を担う。「認定評価委員会」は毎月1回認定基準に基づき認定薬剤師の認定審査、更新審査を行う。

3 研修の区分

- (1) 本校主催研修会
- (2) 他団体主催の研修会、講演会
- (3) グループ研修
- (4) 自己研修
- (5) 自主的研究（論文・学会発表・研修会演者）
- (6) 学会参加

4 認定取得のための研修単位

「単位基準」

研修区分	時間	単位
集合研修・動画配信研修（本学主催）	1.5時間	1単位
グループ研修（申告制・レポート）	1時間	0.5単位(1単位ごとに申告)1申請5単位まで
自己研修（申告制・レポート）	1時間	0.25単位(1単位ごとに申告)1申請5単位まで
自主的研究 論文発表 原著・総説筆頭著者		2単位(論文コピー)
学会発表者・研修会演者		1単位(要旨コピー)
学会参加		1日3単位、上限9単位/日

※認証機構より認証を受けた研修認定団体（プロバイダー）の研修単位は有効とする。また、その他の団体からの単位については、認定評価委員会が評価し取り扱う。

※グループ研修とは、東邦大学薬学部認定薬剤師制度委員会が認定したグループによる研修を意味する。グループとして認定を受けたい場合は、別に定める様式で東邦大学薬学部認定薬剤師制度委員会に申請すること。

※自己研修とは、過去本学主催の研修会を記録したビデオ、DVDを閲覧・学習することを意味する。当該ビデオ、DVDを閲覧したい場合は、東邦大学薬学部生涯学習認定制度委員会に申し出ること。

※自己研修による単位申請には、レポート（A4サイズ1枚1,000字程度）を添付の上受講単位認定請求書と併せて東邦大学薬学部生涯学習認定制度委員会に申請すること。

※東邦大学薬学部生涯学習認定制度委員会に認定薬剤師の新規、更新のいずれも申請する場合は、2014年4月1日以降に修得した学習単位は、認定必要単位数のうち本学が主催・共催する事業における受講単位数を50%以上取得すること。

※eラーニング学習にて、2011年4月1日以降に修得した学習単位は、認定必要単位数の50%を超えないこととする。

「認定取得単位」

4年以内に40単位の取得とする。なお、毎年5単位以上の単位取得が条件である。

「更新の単位」

3年以内に30単位以上の取得とする。なお毎年5単位以上の単位取得が条件である。

「本学主催の研修会」

年10回実施し、1回270分（配信による場合180分）3単位または2単位とする。研修会受講料は別に定める。

その他、公開講座、漢方講座等、研修内容により単位を別に定める。

5 認定薬剤師の申請

(1) 本制度による認定薬剤師を申請するものは次の条件を満たしていなければならない。

①日本国の薬剤師免許を取得していること。

②本制度の定める規定の研修を修めた者。（＊認定取得用単位基準）

(2) 本制度による認定薬剤師を申請する者は、必要書類（生涯学習認定申請書・研修記録・履歴書・薬剤師免許証の写し）と認定審査料を認定薬剤師制度委員会に提出する。また、更新申請をする者は、本学から認定期限2か月前までに郵送された認定薬剤師更新申請書（A4）と研修記録と認定審査料を認定薬剤師制度委員会に提出する。

＊前回、他プロバイダーによる認定を受けた者は、必要書類（該当の認定薬剤師証の写し・生涯学習認定申請書・研修記録・履歴書・薬剤師免許証の写し）と認定審査料を認定薬剤師制度委員会に提出する。

6 認定薬剤師の認定と更新

(1) 認定薬剤師制度委員会は、認定評価を認定評価委員会に委嘱する。

認定評価委員会は提出された申請書類が認定評価基準に適合するか判定する。

認定薬剤師制度委員会はその報告書に基づいて審査し、適格と認めたものに「認定薬剤師証」を発給する。

発給後、申請書類の虚偽記載並びに認定薬剤師としてふさわしくない行為が判明した場合は、認定を取り消すことがある。

(2) 認定の更新は3年毎に必要な資格を満たした者に対し所定の手続きを行うことにより与えられる。

(3) 出産・育児、入院、海外留学等のやむを得ざる理由により研修が不可能となった場合については、認定申請の際に、証明となる文書等を添えて認定制度委員会事務局に申請すること。

不可能となった期間を延長として認めることがある。（最大1年間）期間延長中であっても認定資格を有するものとする。

(4) 初回認定審査料1万円（税込）、認定更新料1万円（税込）、オプション別途料金

(5) 有効期限

「認定薬剤師証」の有効期限は交付の日より3年とする。

(6) 認定薬剤師証の再発行

「認定薬剤師証」を紛失・破損などの理由で再発行する場合 5千円（税込）

付則

この制度は、2006年4月1日よりこれを施行する。

この制度は、一部改正のうえ2011年4月1日よりこれを施行する。

この制度は、一部改正のうえ2013年4月1日よりこれを施行する。

この制度は、一部改正のうえ2014年4月1日よりこれを施行する。

この制度は、一部改正のうえ2020年4月1日よりこれを施行する。

この制度は、一部改正のうえ2021年4月1日よりこれを施行する。